



異世界のウエイトレス、  
厄介客に絡まれる♡

荒っぽい人の多い  
この辺境の街で  
唯一の酒場を  
切り盛りしています！

近くにマわりの魔物が出たので車で  
客足がちやうと淋しい今日この頃…

ウエイトレス♪

むい♡  
♡



なでなで

むに♡

あ♡

に♡

す♡

むに♡

す♡

あの…っ  
困りますう…っ

俺らが帰ったら  
この町  
困るだろ？

仕事あるんで…  
ほんとに…っ

魔物の討伐に  
わざわざ王都から  
来てやったんだげえ  
労ってくれよ  
デカパイの給仕ちゃん

命懸けの仕事の前に  
英気を養わねえとな

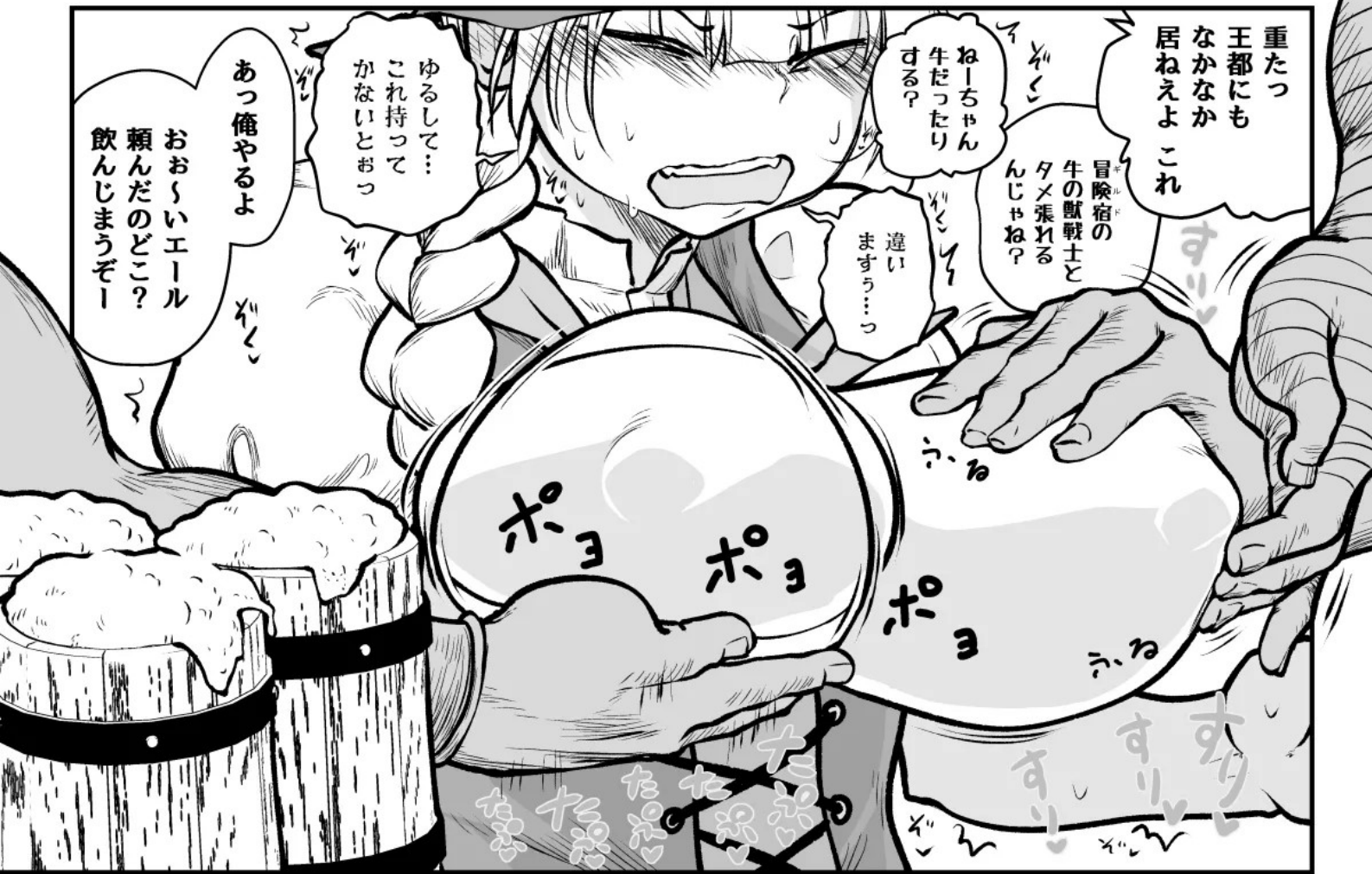


私はかわい  
ウエイトレス♪

荒っぽい人の多い  
この辺境の街で  
唯一の酒場を  
切り盛りしています！

近くにてわろい魔物が出たつて事で  
客足がちよっと淋しい今日この頃…

それでも  
来てくれる常連さんの為に  
元気に笑顔でがんばります！



お〜  
可愛いの  
穿いてんじゃん♪

やんやんやんやん  
やんやんやんやん

犯される！  
犯される犯される  
犯される犯される！

お尻しっかり  
してるね〜  
立ち仕事だもんね〜

あ〜っ

しますんで…っ

口で…

いいねえ  
上手いよお

慣れてんねえ  
裏メニユで  
やってるでしょ？

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ

ちゅこっ



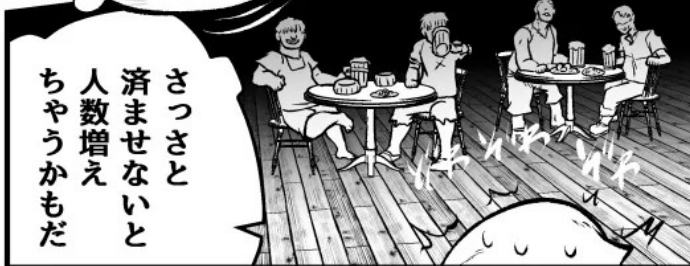
あのお  
1人づつ順番に...

早く終わらせ  
たいでしょ  
こっちの方が  
早いよ

ほらデカパイも  
見せて興奮  
させなきや

ニ  
ん  
ん

常連の奴らも  
見てるねえ



さつさと  
済ませないと  
人数増え  
ちやうかもだ



まずは  
俺からってか

おあっ!

上等



おあっ!

ん  
ん  
ん



あっ上手い  
フエラ抜き  
すっごい！

ねっこっちも  
構ってよっ

おっぱこ  
重っ

激しい激しい！  
もっと恋人  
みたいにっ！



おっ  
次は俺ね

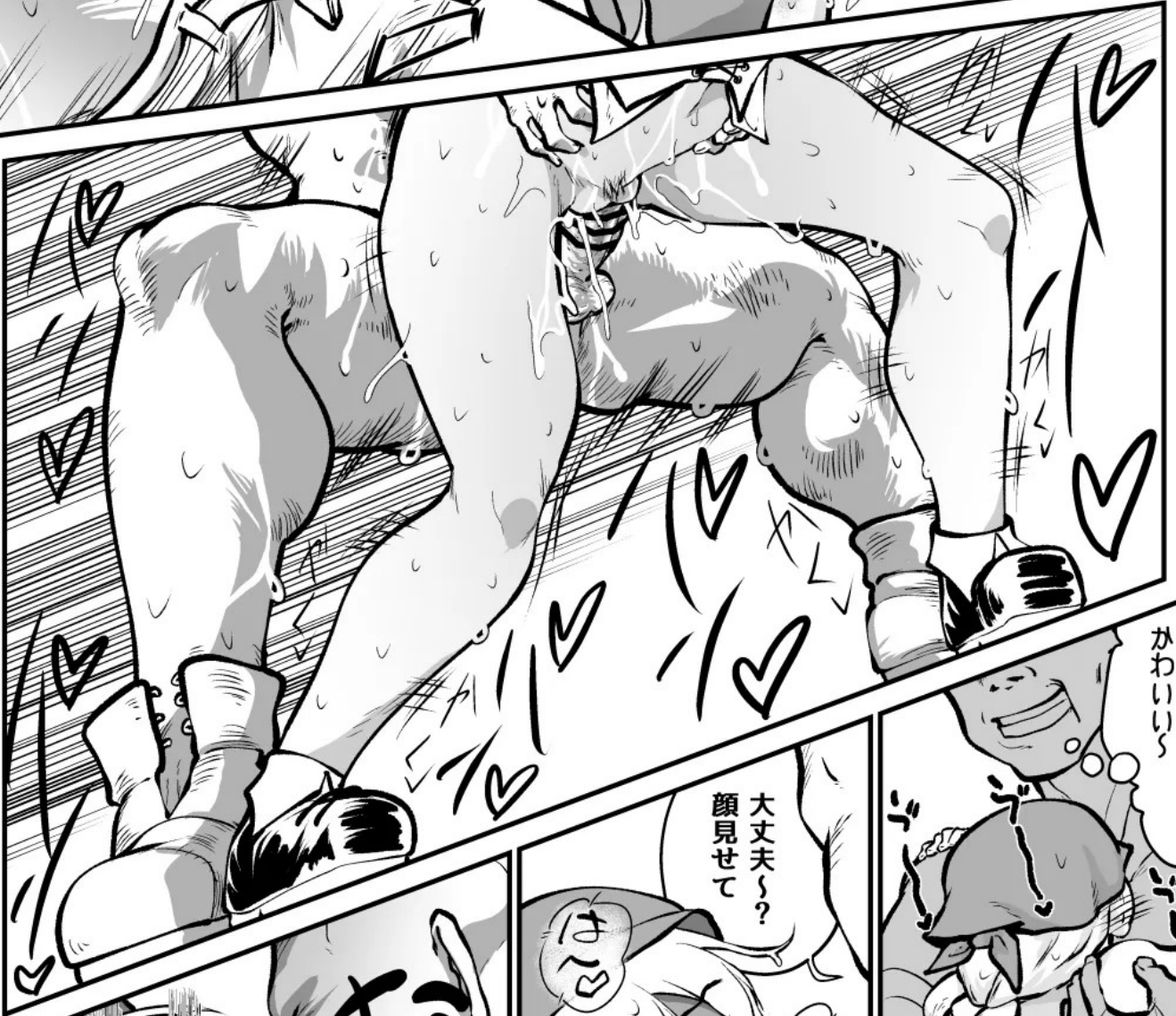
え〜  
俺最後〜？

えがった！





動きにくい  
ウエイトレスちゃん  
立てる？



必死に握まって  
かわいい

大丈夫？  
顔見せて



だいっ  
じよほっ

ないっ  
さぶさぶっ……♡



可愛いっ！  
ちゅーしちやお！

むぎゅ

るる

ん  
まま





俺ら結婚しね?

あゝ気持ち〜

ちゅっ

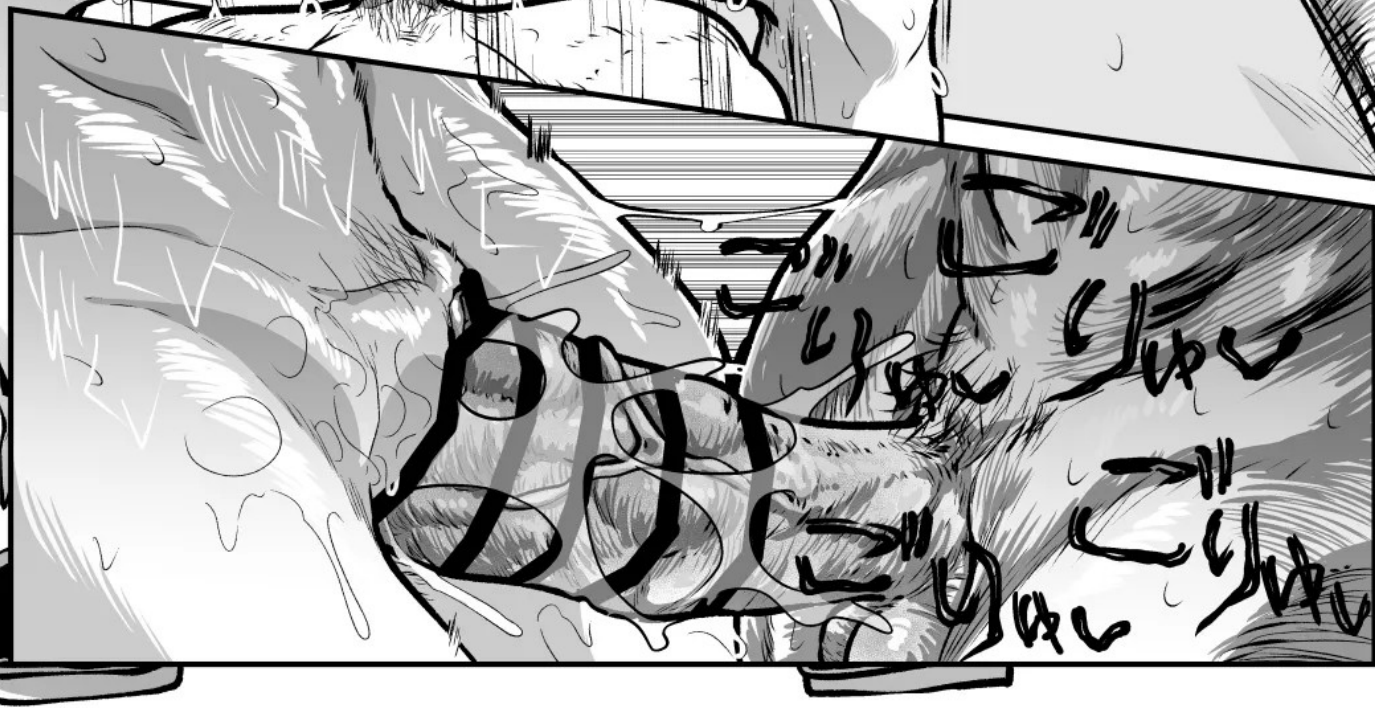
ちゅっ

ちゅっ

はっ

はっ

はっ



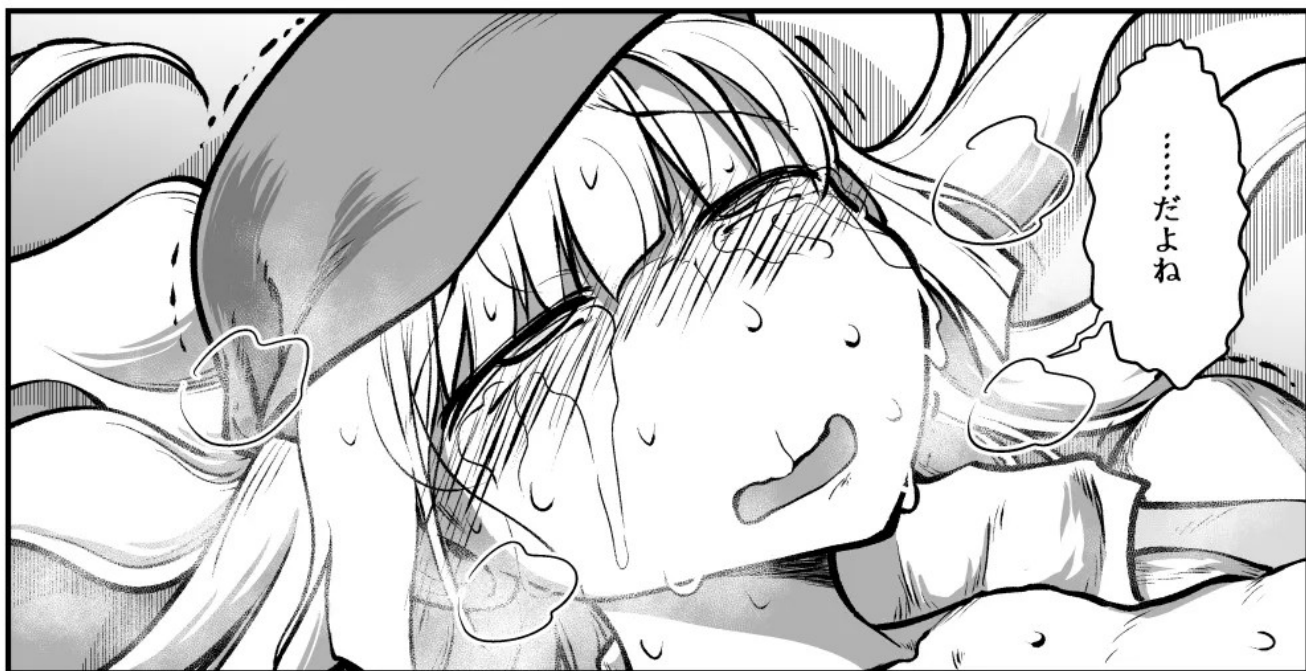
はっ

ちゅっ

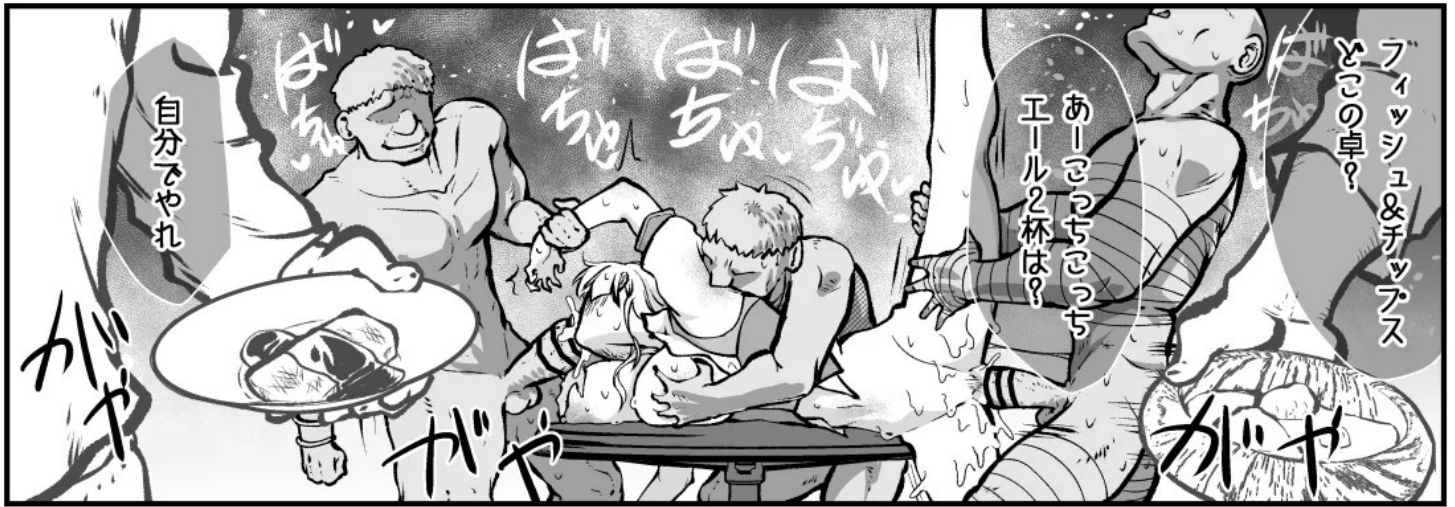
はっ

ちゅっ









ぶみゅ♡  
むぢゅ♡  
むぢゅ♡

こっちも奢りだよ♡  
お〜射精る射精る

ふん  
ふん♡ふん♡ふん♡

ほらウエイトレスちゃんも  
飲んでる奢りだよ

自分でやれ

あーごちごちごち  
エール2杯は？

フィッシュ&チップス  
どこの卓？

ガガ

エールもらうよ  
金ごっこ置くから

おい  
ちよろまかすな  
銅貨三枚だよ

ライスコロッケ  
まだある？

おちゅん  
チキンケリル頼むわ

ガガ

ガガ

ガガ

シュリンプ  
ある？

うおっ  
すっげえ  
締まる

頼むから店で  
吐くなよ

イーッ  
イーッ  
イーッ

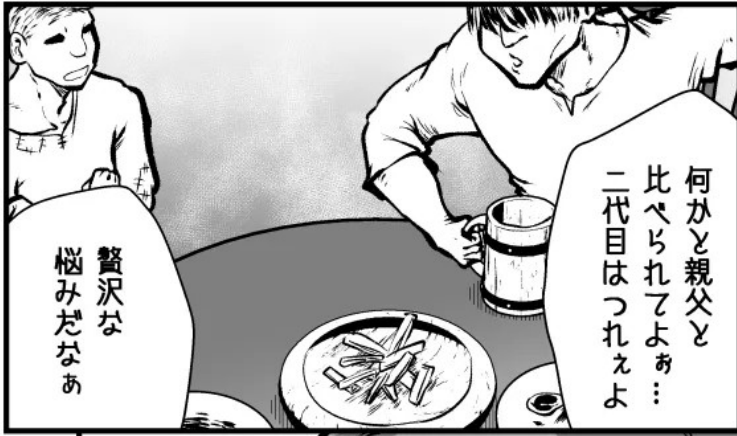
飲み過ぎた！  
水くれ！

あいよ  
チキンケリルね

ガガ

ガガ

毎じやないよ



何かと親父と  
比べられてよあ：  
二代目はつれえよ

贅沢な  
悩みだなあ

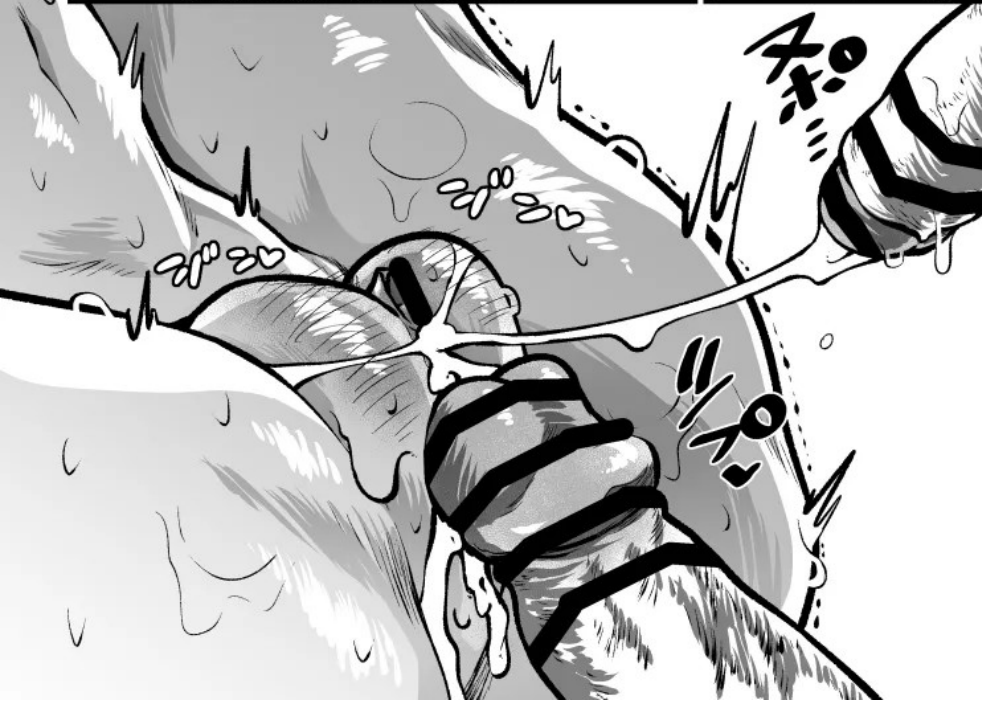


ガレ話だろ？

レイ商会の向かいの  
奥さんの話聞いたか？  
ヤレるってやつ



ライスコロッケ  
もう一皿くれ



それ  
不味かったよ

新しいの  
増えてるじゃん













一人でやれ  
禿げエ!!

ひっ  
ごめんなさ

またこんな事  
やらせやがって  
娼館じゃ  
あえ——んだぞ!!!

はい…  
ごもっともです…



今日の日当り倍だかん!!  
あと避妊魔法の教会代!

はい…出します

あとお風呂!  
あつたかいの〜!!

はい…  
用意します…

あの…  
禿げじゃなくて  
これ剃ってて

びえええええ!

うるせえ〜  
ハゲえ〜  
!!!

はい…  
すみません



ちなみに  
冒険者3人は  
魔物に振り返りに  
遭い帰らぬ人となつたとさ

姦され損じゃ  
ねーか!!

おしまい♡

# 酒場の給仕

荒くれ者も多い辺境の街の酒場で働く彼女は、常連たちに恐れられていた。

その男を誘う豊満な身体に触れる者には、即座に手に持っている物を投げつける。

例え熟成した高級な葡萄酒であろうと、熱々に熱せられた鉄板だろうと、お構いなしに投げつける。

終いにはその投げた物の代金を哀れな被害者に請求してくるのだ。

「彼女に触れる時は持っている物を吟味しろ」と常連たちは言い伝えている。  
ちなみに彼氏は普通に居る。

奥付

発行：Verみみずく  
発行者：こみずく  
発行日：2025/10  
twitter：@C0mizk

- ◇本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
- ◇本作は成人向け書籍です。18未満の閲覧、購読を禁じます。
- ◇本作を無断で転載・複製・配信・送信する等を禁止します。